



2024年5月14日

各位

会社名 株式会社マーケットエンタープライズ
代表者名 代表取締役社長 小林 泰士
(コード：3135、東証プライム)
問合せ先 常務取締役 今村 健一
(TEL. 03-5159-4060)

2024年6月期 通期業績予想の再修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ 2024年2月14日公表の2024年6月期（2023年7月1日～2024年6月30日）通期業績予想を下記のとおり再修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 当期業績予想数値の修正（2023年7月1日～2024年6月30日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	18,000	100	△135	△547	△102円63銭
今回修正予想（B）	18,000	180	△100	△540	△101円20銭
増減額（B－A）	0	80	35	7	
増減率（％）	0.0	80.0	—	—	
（ご参考）前期実績 （2023年6月期）	15,257	94	278	290	54円56銭

2. 修正の理由

〔売上高〕

当社グループにおいては、事業の特性上、転居に伴う商品の買い替えや新規購入等のニーズが強まる下半期に買取依頼、販売受注が高まる傾向にあり、売上高につきましては前回発表予想の18,000百万円から変更ございません。

〔営業利益〕

当社グループは、拡大を続けるリユース市場において一層の業容拡大を目指し、当第1四半期から第2四半期にかけて、個人向けリユース分野において、出張買取人員および車両の増強、リユースセンターの新規拠点開設（大阪東住吉・広島）、増加する買取依頼に対応するためのコンタクトセンターの拡充（錦糸町支社）等の投資を実施してまいりました。当期初におきましては、これら各種投資効果の発現時期について当第2四半期以降を見込んでおりましたが、出張買取人員に対する教育の遅れ等によりこうした社内リソースを十分に収益化につなげることができず、2024年2月14日付で営業利益を100百万円に下方修正いたしました。しかしながら、当第3四半期におきましては、その後推し進めてきた買取チャネルの再最適化や人員配置の最適化等といった生産性向上策の成果が収益面で顕在化し、また、こうした収益力改善の進捗に合わせ適切な経費コントロールを実施することで、当社の収益獲得能力は従前に比べより筋肉質な体質へ転換が図られつつあります。（その他、当社の企業価値向上に向けた各種取組の詳細につきましては本日公表の「2024年6月期 第3四半期決算説明資料」をご参照ください。）

以上のような取組の結果、営業利益については前回公表の 100 百万円を当第 3 四半期累計期間で超過しましたため、今回再度、通期見通しについて精査した結果、営業利益は前回予想を 80 百万円上回る見込みです。

なお、上記営業利益の精査にあたっては、当第 4 四半期初より新たに配属された新卒社員約 70 名の戦力化コストも勘案しております。

〔経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益〕

当第 3 四半期累計期間において、株価変動に伴うデリバティブ評価損 279 百万円を計上しております。この結果、経常利益は 35 百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は 7 百万円、それぞれ前回予想を上回る見込みです。

(注記事項)

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上